

洛西浄化センター 下水道フェア

2024

同日開催!!

クリーンプラザおとくに
(乙訓環境衛生組合)

60周年記念イベント

施設見学 & サンドプラスト無料体験実施!

事前予約受付中!!
お電話お待ちしております!!
詳しくは組合HPまで♪
TEL075-957-6686(政策推進課)



10月20日 日

10:00~15:30

アクアパルコ洛西
(洛西浄化センター公園)
ファミリーフェスティバル
同時開催
(ウルトラマンもやってくる)

いろは呑龍トンネルマスコット
「呑龍太郎」

施設見学

詳しくは、裏面を参照

水をきれいにする仕組みを実際に見て、
感じてください。職員による説明付き。

浄化センターの水処理を学べる **ロング** と **ショート** の
2コースと、雨水の貯留施設「いろは呑龍トンネル」
をまわるコースの3つから見学できます。

ロング … 固形燃料化施設・地下管廊を見に行くよ!!

ショート … 新幹線をすぐ近くで見られるよ!!

呑龍トンネル … 地下トンネル入口まで近づくことができます!!

ちよび

職業体験「生物試験」

(対象年齢)
小学校高学年~



顕微鏡で微生物を観察してみよう!!

“浄化の主角” 活性汚泥中の微生物を顕微鏡で観
察して種類ごとに数を数えることで、活性汚泥の
状態が分かります。30分程度
当日予約必要



ぬりえコーナー

ぬりえをしてオリジナル下敷きを作ろう!!
スイスイ君・新幹線・微生物など

実験コーナー つまらん管

子供から大人まで
楽しめます(10分程度)

下水道には何でも流していいの?
流せない紙と流せる紙がある!!

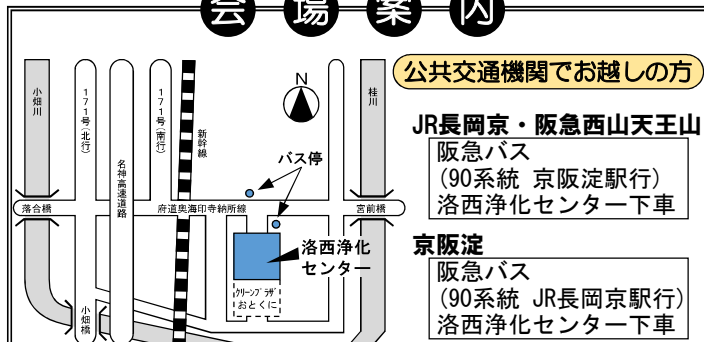
それには理由があるのです。真実は、
実験コーナーにて…

下水道マスコット
「スイスイ」

その他たくさんのイベントやプレゼント
も用意してあります。さらに、府営水道
事務所からは「京都の水」、京都市上下
水道局下水道事業PRプロジェクトチーム
からは「微生物カード」をプレゼント!



会場案内



駐車台数には限りがありますので、可能な限り公共交通機関
でお越しください。

!!!センターの開門時間は10時です。開門まで駐車できません!!

主催：京都府(流域下水道事務所 洛西浄化センター)

協力：京都市・向日市・長岡京市・大山崎町

問い合わせ先：洛西浄化センター (075-955-4592)

施設見学 の詳細

選べる3つの見学コース！じっくり浄化センターを学ぶ「ロングコース」、新幹線も間近で見られる「ショートコース」、それとも地下トンネル入口まで潜る「いろは呑龍トンネルコース」、君はどれを選ぶ？

浄化センター（ロング）

水をきれいにする水処理施設や地下管廊の見学等のほか、CO₂削減に大きく貢献する下水汚泥固形燃料化施設をまわります。

【開始時刻】①10:30 ②13:00

【見学時間】約90分

【対象年齢】小学生以上

【定員】各回 20 名程度



下水汚泥固形燃料化施設 (H29年4月稼働)

浄化センター（ショート）

中央管理室や水質検査室等の見学のほか、管理棟屋上からの新幹線撮影もできます。

【開始時刻】①11:00 ②12:00

③13:10 ④14:00

【見学時間】約30分

【対象年齢】小学生以上

【定員】各回 20 名程度



ドクターイエローが見られるかも…？

管理棟屋上から望む新幹線はインパクト大！

いろは呑龍トンネル

地下30m下のトンネルと高さ6mの調整池内部にご案内します。普段見ることができない呑龍の内部をお楽しみください！

【開始時刻】①10:30 ②13:30

【見学時間】約60分

【対象年齢】小学生以上

【定員】各回20名程度

（雨天時は中止します）



いろは呑龍トンネルと調整池

施設見学に参加を御希望の方は管理棟1階の受付までお越し下さい。（10時から随時受付・先着順）

桂川右岸流域下水道について

汚水の処理（洛西浄化センター）

洛西浄化センターでは、桂川右岸地域（京都市（西京区・南区・伏見区）、向日市、長岡京市、大山崎町）の家庭や事業場から排水され、下水道管を流れてきた汚水をきれいな水に再生しています。

処理区域で最も離れている嵐山エリアから洛西浄化センターまでは、約4時間かけて下水が流れてきます。その後、微生物などの力を利用して、約16～17時間かけて水をきれいにし、桂川へ放流しています。

雨水の処理（いろは呑龍トンネル）

いろは呑龍（どんりゅう）トンネルとは、京都市（西京区・南区）、向日市及び長岡京市において、水路等で増水した雨水を取込み、直接、河川放流又は一時貯留によって、地域の浸水被害から守るための地下トンネルです。

平成7年度に事業着手し、平成13年6月に北幹線第1号管渠、平成23年10月に同第2号・第3号、令和4年3月に南幹線の供用を開始し、浸水被害軽減に大きな効果を発揮しています。

